

Good Choice

グッドチョイス

まちの話題をお寄せください。

総務部広報統計係 ☎75-2116/☎75-2110

今年も安心安全のために消防精神を発揮

多久市消防団の出初め式が1月9日に行われ、団員約400人が消防署グラウンドから式典会場の中央公民館まで、横尾市長の観閲を受けて分列行進しました。

式典では、優良団員などの表彰の後、横尾市長が集中豪雨や火災での団員の的確な対処に感謝し「消防精神を発揮して今年もいかに活躍いただき、市民の安心安全のためにお力添えを賜りたい」と激励。また、陣内成和団長は、今年、女性消防団が全国大会、ラッパ隊が県大会に出場することを紹介し「消防の使命を肝に銘じ、市民に深く応えるよう鋭意努力してください」と、参列した団員らに年頭の訓示を述べました。

幼いころから火災予防意識の高揚を図るため結成された、緑が丘小学校少年消防クラブやなごみ保育園幼年消防クラブも参加し、鼓笛演奏や遊戯の披露もありました。

この後、牛津川河川敷でポンプ車による一斉放水を行いました。

多久市消防団出初め式



▲分列行進で全団員を先導するラッパ隊



◀どちらが餌を多く獲れるか競う参加者

初代優勝はグリーンフューチャー(緑が丘小)

目指せ! 第2の志田林三郎 ロボットコンテスト

志田林三郎博士顕彰会は12月25日、市内の小学4年から6年生を対象にしたロボットコンテストを中央中学校技術室で行いました。

郷土の偉人「志田博士」の業績にちなみ、明日の日本を担う子どもたちの科学技術への関心を高め、ものづくりの楽しさや喜びを知ってもらおうと初開催。ザリガニロボットを作り、餌を確保し、巣穴に持ち込むシーンの再現がミッションでした。

参加した児童らは、県大会優勝経験のある中央中学校科学部の生徒に教わりながらロボットを製作。高得点を目指して工夫を凝らしました。

餌に見立てたフィルムケースを取り合う試合では、不慣れなロボット操作も声を掛け合って協力。中学生が披露したデモンストレーションでは、児童も保護者も熱心に見入っていました。

悪戦苦闘しながらも楽しく夢中になる姿に、保護者も思わず童心にかえるアットホームな雰囲気になった大会となり、優勝は緑が丘小の4年生4人で構成のグリーンフューチャーチームでした。

多久の発信に お手伝い! 小川さんのお手製看板

1/12



「多久の魅力を発信中のFM佐賀の“Hello 多久”を応援し、みなさんにももっと多久に興味を!」と、小川あかりさんが手書きの看板を作成。ご主人と営む『海鮮うまいもんや海の駅 茜』に飾ろうと作ったものの、関係者の目に止まり、今は市役所1階ロビーで訪れた人の目を楽しませています。店の新メニューやプランの案内看板も手掛けるほど器用な小川さんは、「一緒に写真におさめる方もいて嬉しい」と。水性絵の具で鮮やかに描かれたタテ91cm、ヨコ183cmのパネル、みなさんもお覧ください。

七草粥会で 無病息災を願う

1/8



西多久町のくど造り民家「森家」で、七草粥会が行われました。氷点下の寒さの中、町内で採れた七草を使った温かい粥、幡船汁、女山大根でのふるふき大根をふるまい、今年1年の無病息災を願いました。

町内はもちろん市内外からも多くの人が訪れ、佐賀市の女性は、「昨年は無かったので今日を楽しみにしていました。美味しいです」と心と身体を満たしていました。